

# 第23回「議員と語りかい」報告書

1班 (No.1)

開催日	平成29年 5月10日 (水) 19時00分 ~ 20時20分		
開催場所	上之段地区自治公民館		
団体名	上之段、平山、塚脇地区	参加人員	39人 (男31人:女8人)
出席議員	常盤 信一 岡村 一二三 下深迫 孝二 徳田 修和 池田 綱雄 木野田 誠		
役割分担	班 長 (下深迫 孝二) 副班長 (常盤 信一) 記録係 (徳田 修和)		
テーマ及び具 体的な内容	地域課題、市政、議会全般		

## 意見交換での主な意見等

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

- ◆敷根から上之段への道路の拡幅が進まない。まちづくり実施計画書には載せている。
- ◇何年か前に一部拡幅はされたが、危険箇所があるとのことで引き続き、要望が上がっていることは認識している。どうにか進められるように、働きかけていきたいが、霧島市は面積も広く道路に関する要望は各地域からも多く出ているということは、ご理解いただきたい。
- ◆国道10号で大きな事故が起きた場合、敷根上之段線をう回路として利用される。大型車が進入してくると離合ができない。交通安全講習でも対応のお願いをしたが、その後事故があったが、何も改善されない。朴木から牧之原に抜ける旧道も同様である。交通整理をするなどの協議をしてほしい。
- ◇所管する部署に伝えて回答させてほしい。
- ◆曾於市の方は、防火用自然水利の案内杭が立っている。霧島市ではできないか。
- ◇霧島市には自然水利が少ない。ご意見は、消防局、安心安全課の方に伝えたい。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆塚脇では、小学校を守る目的で宅地の区画造成をしてもらったが、空き地が残っている現状である。地域でも小学校を守る取組をしているので、市営住宅をつくるなどの協力はしてもらえないか。

◇市営住宅をつくった場合、入居する方がいるのかなど、調査をして慎重に取り組まなければならない。担当課に伝えたい。少子化対策の面からも平山地区にあるような、戸建て型の市営住宅は必要であるとの考えもある。議論を重ねていきたい。

◆平野部から平山地区に向かう県道が狭く危険である。移住を検討された方が来られたが、怖くて運転ができないと断念されたこともある。口輪野から野平に行くと広い市道があるのでその区間を拡張してもらえれば、県道を通らなくても、だいぶ改善されると思うが実施できないか。

◇県道に対する要望は再三されていると認識している。改めて、所管部署に伝えたい。状況については報告したい。

◆霧島市は国保税が高い。健康生きがいくりの運動はされているが、効果がみえない。公民館単位ではなく自治会単位で健康生きがいくりの取組をするように言われているが、どう取り組めばいいか悩まされる。実際、この地域では、動けるご高齢の方は、働きかけをしなくても畑仕事をするなど、十分に体を動かしている。他の町では、銀行などとタイアップして、検診を積極的に受けると、金利を上げてくれるような取組もあるようだが、補助金を出すような取組はできないか。決まった人しか参加してもらえない状況を改善できないか。

◇健康づくりの体を動かす事業に加え、検診についても様々な科目を増やしている。市民に伝わっていないということは広報の在り方を見直さなければならないと思う。健康指導員のスキルアップのほか、地域の特性、生活スタイルを考えた取組も今後は考えていかなければならない。地域の声をよく聞いて、委員会でも議論を重ねていきたい。

◆霧島市では、太陽光発電が進んでいる。送電用の電柱を立てているが、市道の側溝の真ん中に立てているところや通行の妨げになる場所もある。市の許可基準はどうなっているのか。

◇委員会で現地を確認して、調査したい。霧島永水地区では地下埋設でされている。太陽光発電については、現地の確認はするが電柱の話はしたことがない。今後は注意したい。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆霧島市では行政と一緒に議員団での現地見回りはしないのか。霧島市全体を見て回る考えはないか

◇現在は行っていないが、できるかどうかも含めて検討したい。全体を定期的に見回ることにはしていないが、地域から寄せられた問題点等がある場合は、委員会として現地調査を行っている。

◆道路整備を実施される場合も、穴ぼこを埋めるだけの工事がされていて、すぐ壊れてしまう。余計にお金もかかると思うので、工事するときは、長持ちするようしっかりとした対応をしてほしい。

◇霧島市の多く出ている要望に対応できない現状もあるので、ご理解いただきたい。

◆以前、後川内で火災があり1人死亡している。この辺りには水利がない。要望はしているが話が進まない。まちづくり実施計画書に要望をまとめろと言われるが、ヒアリングもわずかな時間しかなく、本当に地域のことを理解してもらえないとは思えない。

◇防火水槽については、消防局に状況を確認して調査したい。ヒアリングの在り方などは担当部署に伝えたい。

◆公民館が災害時の避難所になっているが、高齢者は避難できない。動線もしっかりしていないので、災害時には通行できない可能性も高い。孤立する可能性も高いが、市は対応をどのように考えているのか。

◇平成5年災のときに言われるような状況になり苦労したが、当時と違い、通信設備も整っている所以、対応はされるものと考えている。自然が相手なので完璧はないと思うが、防災マップも作製されているので確認してほしい。